

平成 22 年度決算の概要

主要計数

(単位:億円)	22 年度	21 年度	増減
業務粗利益(信託勘定償却前)	35,225	36,004	▲778
営業費(▲)	20,208	20,848	▲639
実質業務純益	15,016	15,155	▲138
与信関係費用 ^(*)	▲4,242	▲8,252	4,009
株式等関係損益	▲571	324	▲896
その他の臨時損益	▲3,737	▲1,771	▲1,966
経常利益	6,464	5,456	1,007
連結当期純利益	5,830	3,887	1,943
与信関係費用総額 ^(**)	▲3,541	▲7,601	4,060

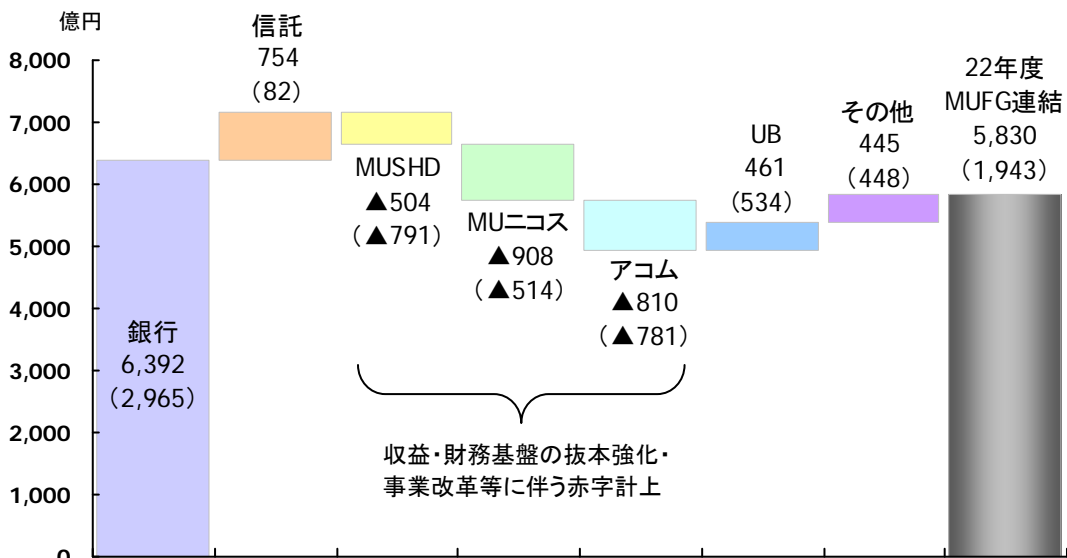
(*) 与信関係費用(信託勘定)＋一般貸倒引当金繰入額＋与信関係費用(臨時損益)

(**) 与信関係費用＋貸倒引当金戻入益＋偶発損失引当金戻入益(与信関連)＋償却債権取立益

連結当期純利益の状況

- ◇ コンシューマーファイナンス子会社(MU ニコス・アコム)における収益・財務基盤の抜本強化、証券子会社の事業改革等に伴う赤字を計上したものの、銀行・信託を中心に順調に収益を積上げた結果、グループ全体では通期で 5,830 億円(前年度比＋1,943 億円)の当期純利益を確保。
- ◇ 銀行・信託は法人税に係わる繰越欠損金を解消し、法人税の納付を再開。

[連結当期純利益 業態別内訳(*)]



(*) 上記子会社の計数は持分比率勘定後(税引後ベース)の実績、括弧内は21年度比増減額

平成 22 年度決算の概要

連結自己資本比率

	22 年度末	22 年度中間期末	増減
自己資本比率	14.89%	15.24%	▲0.34%
Tier1 比率	11.33%	11.57%	▲0.24%

23 年度業績目標・配当予想

(単位:億円)	23 年度	中間期	22 年度実績	中間期実績
連結当期(中間)純利益	6,000	2,800	5,830	3,567
普通株式配当/株	年間 12 円	中間 6 円	年間 12 円	中間 6 円

23 年度の取組方針

- ◇ 大震災からの復興に向けて
 - 危機時における安定的な金融機能の発揮は、金融機関の社会的使命。日本の復興を金融面から確りと支援。
- ◇ 中期経営計画の“総仕上げ”
 - 顧客部門を軸に“守りから攻めへのギアチェンジ”を更に加速。重点事業領域の深化・拡大に向け、コア施策には大胆且つ効果的に経営資源を投入。グループ総合力を発揮し、お客さまに実感頂けるグループシナジーを追求。
- ◇ 持続的成長に向けて
 - 利益水準の底上げによる内部留保の蓄積と効率的な資本運営により、バーゼルⅢにも対応し得る充分且つ強固な財務基盤を堅持し、持続的成長を確保。

以上

本資料には、当社または当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。